

Technical Data Sheet

2006/05/31
(Rev.8-2009/12/02)

93-73501 Bennington8350 フロントドアラッチキット

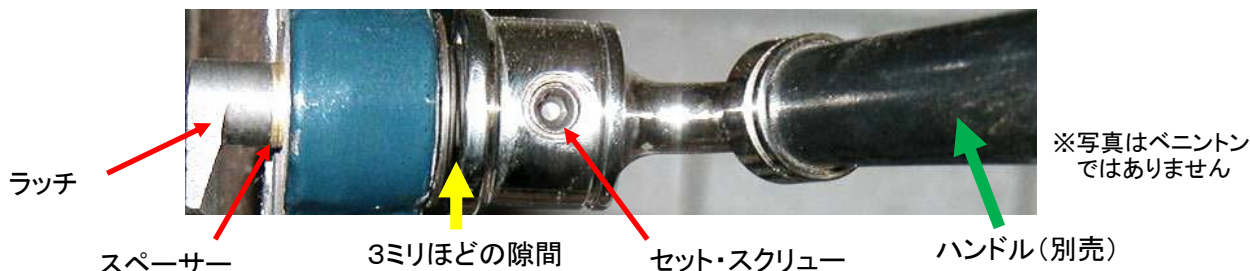
キットに含まれるもの			作業に必要なもの(ご用意ください)
5350-061	ラッチ(軸)	1	プラスドライバー
5350-065	クローム・クランク	1	5/32" 六角レンチ
5240-135	コイル・スプリング	1	
5021-032	フラット・ワッシャー (黒)	1	
4500-2975	セット・スクリュー	1	
4700-0790	スペーサー	4	
2005年9月(シリアル#3115)以前製造の			
ストーブには以下も使用します			
5350-062	ラッチ・キャッチ	1	

始める前に 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

1. 5/32" 六角レンチでセットスクリュー(2つ)を外し、現在付いているラッチを取り除きます。
*2005年9月(シリアル#3115)以降に製造されたストーブの場合は、手順4へ進んでください。
2. 2005年9月(シリアル#3115)以前に製造されたストーブの場合は、本体側のラッチ・キャッチ部分も外し(プラスのネジを2箇所外す)、古いラッチ・キャッチは廃棄してください。
3. 2.で外したネジを使い、新しいラッチ・キャッチを取り付けます。
4. 新しいラッチにスペーサーを1つ取り付け、ドアの内側から差し込みます。外側に出たラッチの軸にワッシャーとコイル・スプリングを通し、クローム・クランクを時計回りに回しながらラッチに取り付けます。クローム・クランクとワッシャーの間が約3ミリになるまで、クローム・クランクをくるくると回していきます。(クローム・クランクとドアの間にスペースがないとコイル・スプリングが機能せず、ラッチの摩耗を早める原因となります)
5. ラッチにある平らな部分とクローム・クランクの穴を合わせ、セット・スクリューで固定します。

ラッチの調整

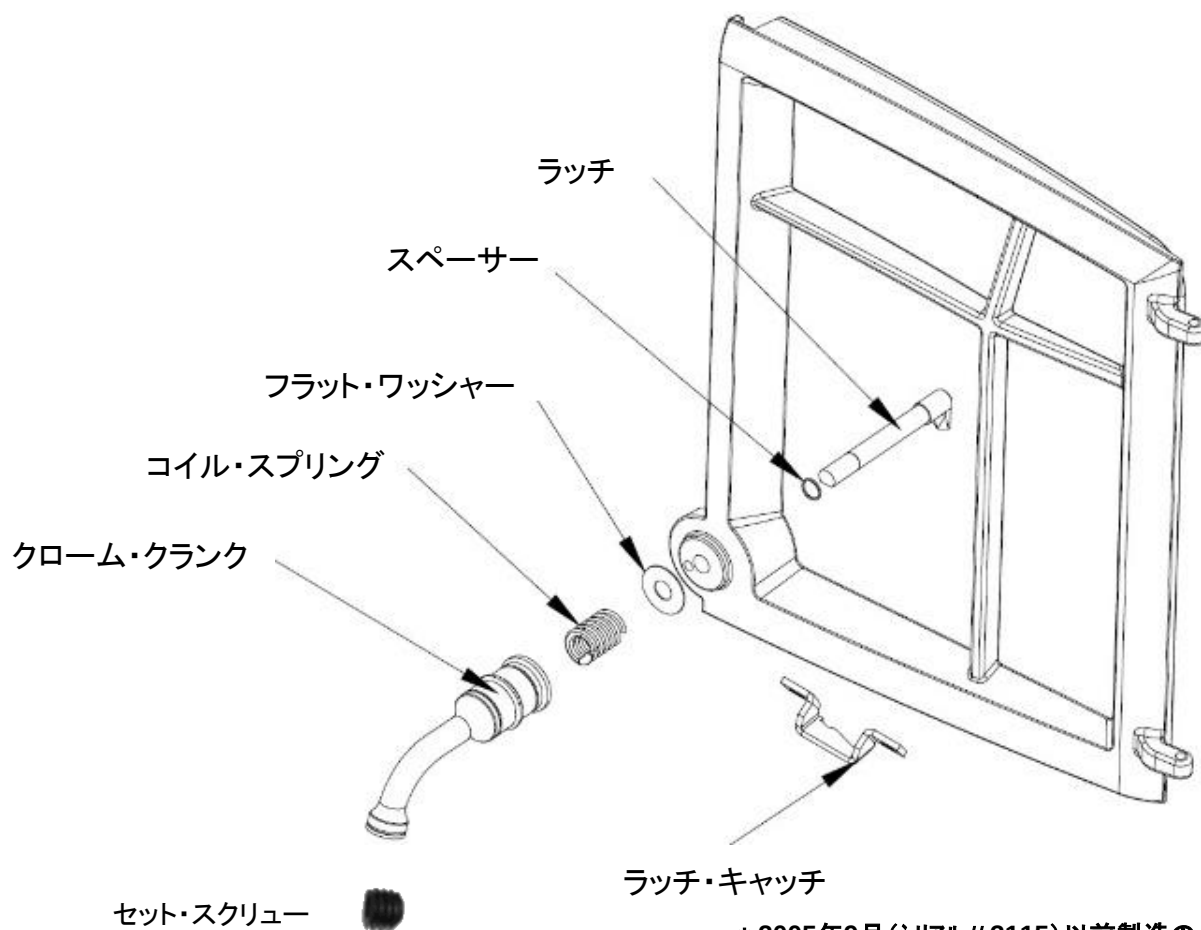
ラッチがきつ過ぎる場合は、クローム・クランクを一度外し、スペーサーを1枚追加します。反対に緩すぎる場合には、ラッチからスペーサーを取り除いてください。



Technical Data Sheet

2006/05/31
(Rev.8-2009/12/02)

93-73501 Bennington8350 フロントドアラッチキット



* 2005年9月(シリアル#3115)以前製造の
ストーブのみ交換が必要です

